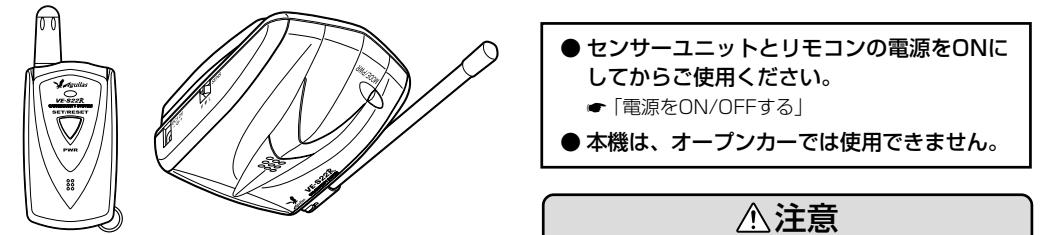


コピテル工業株式会社
YUPITERU
CAR SECURITY SYSTEM
VE-S22R 取扱説明書/保証書



国産12V車専用

このたびは、コピテルのCAR SECURITY SYSTEM「VE-S22R」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機は、車内に装着し、衝撃やドアの開放を検知すると、光とサイレンの組み合わせにより警告・警報を発し、車上あらしや盗難を未然に防止する簡易型防犯装置です。
また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロール用無線設備です。

コピテル工業株式会社 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 6SS0849

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(裏面記載)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	VE-S22R	S/No.	
----	---------	-------	--

お買い上げ日	年 月 日	保証期間	対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から1年
--------	-------	------	-----------------------------------

お客様 お名前	様
------------	---

ご住所	〒 ()
-----	-------

販売店 店名 住所	
-----------------	--

上記に記入または捺印のない場合は、必ず販売店発行の領収書等、お買い上げの年月日、店名等を証明するもの、お貼りください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。
また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

警告：警告を無視した取り扱いをする
と、使用者が死亡や重傷を負う可能性
があります。

注意：注意を無視した取り扱いをする
と、使用者が傷害や物的損害を
こうむる可能性があります。

警告

- 車内に人(特に子供)やペットがいるときには、警戒状態にしない…警告・警報機能がはたらいた場合、大音量が発生しますので、聴覚障害やストレスを与える恐れがあります。
- 水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手でシガープラグの抜き差しや操作をしない…火災や感電、故障の原因となります。
- 運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。
- 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。
- 機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。
- 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に確実に取り付け…誤った取り付けや、不確実な取り付けはケガや交通事故の原因となります。
- 万一、キャビネットを破損した場合は、すぐにシガープラグを抜き、内蔵電池を取りはずす…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
- サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。
- バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。本機はエンジンキーと連動して車側の電源がOFFにならないと、警戒できません。また、シガープラグを使用せずに電源をとる場合は別売のOP-20と市販の平型ヒューズタイプの電源取り出しコードをご使用ください。
- 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。
- シガープラグは確実に差し込む…シガープラグが確実に差し込まれていなかったり、異物が付着して接触不良を起こしていると、火災の原因になります。
- 煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグを抜き、内蔵電池を取り外して、販売店に修理をご依頼ください。
- 12V車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
- エアバックの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、電源コードが妨げとなり、エアバックが正常に動作しないことがあります。

ご注意 電波法について

- センサーユニット裏の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。
- 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

ご使用にあたって

使用上のご注意

ご使用前にセンサーユニットの内蔵電池を1時間以上充電してください。
充電は、本機とシガーライターソケットに付属のシガープラグを接続し、車のエンジンをかけて(エンジンキーがACCまたはON)ください。
※走行中に充電されますので、常時シガーライターソケットに接続しておいてください。

- 使用するときには、必ず車のウィンドウを完全に閉めてください。ウィンドウが開いていると、空気の振動や衝撃音を正しく検出できません。(オープンカーでは使用できません)
- シガーライターソケットにシガープラグを接続しておきたくない場合は、別売のOP-20と市販の平型ヒューズタイプの電源取り出しコードにより、ACCラインへの接続ができます。(電源がエンジンと連動してOFFにならないと、警戒状態にすることができません)
- 強い雨や雹(ヒョウ)などが降ったときや、雨だれが車体にかかっているときには、ウィンドウやボディへの衝撃を検知して警報する場合があります。また、地下駐車場など空調ファンの振動や音が発生している場所、または、その他の振動や騒音が発生している場所では、警報が発生する場合があります。

付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

- サンバイザークリップ(1)
- シガープラグ(1)
- リモコンスタンド(1)
- 本書(保証書)
- センサーユニット専用電池(1)
- ボタン電池 CR2032(2)

※センサーユニット用専用電池およびボタン電池は商品に装着してあります。

本機は、センサーにより異常を検知し、警告・警報を発する簡易型防犯装置で、盗難を完全に防止できるものではありません。
また、本機の動作の有無にかかわらず発生した盗難事故、イタズラなどによる損害、被害に対しての責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。

仕様

- 【センサーユニット】
 - 電源電圧：DC 12V (入力電圧)
 - 使用電池：DC3.6V (専用ニッケル水素電池)
 - 送信周波数/出力：426.075MHz/1mW以下(技術基準適合品)
 - 消費電流：充電中…急速充電：約500mA(最大)・トリクル充電：約20mA、警戒中…約1mA、警報中…約500mA
 - 警報音圧：90dB/m(サイレン)
 - 動作温度範囲：-20℃~+85℃
 - 本体外形寸法：64.7(W)×35.7(H)×92.8(D)mm (アンテナ部を含みます)
 - 本体重量：125g(電池含む)
- 【リモコン】
 - 使用電池：ボタン電池CR2032(2個)
 - 電池寿命：約5ヶ月(1日8回操作)
 - 動作温度範囲：-10℃~+50℃
 - 外形寸法：34.0(W)×60.5(H)×17.0(D)mm (アンテナ部を含みます)
 - リモコン重量：28g(電池含む)

※仕様や外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

各部の名称と働き

- センサーユニット
 - 感度設定スイッチ
衝撃(強・弱)感度を3段階から選択できます。
※強衝撃と弱衝撃の感度は連動して設定されます。(個別に設定することはできません)
 - DC12Vジャック
(シガープラグ接続端子)
付属のシガープラグを接続して、シガーライターソケットから電源を供給し、センサーユニット専用電池への充電を行います。
 - サイレン
作動音/警告音/警報音を出力します。
90dB/m
 - 5連スキャンニングLED
警戒中…左右から順次点滅します。
警告・警報中…一定時間すべてのLEDが点滅を繰り返します。
- MODE(モード)/PWR(パワー)スイッチ
自動警戒モード・サイレントモードの切替やセンサーユニットの電源をON/OFFできます。
- 赤外線受光部
- 音圧センサー(内蔵)
ドアを開けたときやウィンドウ、ボディが強打されたとき、車内の空気の振動と衝撃音を検知します。

リモコン

- 赤外線送信部
- インジケータランプ
リモコン操作時や通報時に点灯/点滅します。
弱衝撃…2回点滅します。
強衝撃…3回点滅を2.5秒おきに1分間繰り返します。
ドア開放…4回点滅を2.5秒おきに2分間繰り返します。
- 操作ボタン
電源のON/OFFや警戒/解除、通報音停止の操作ができます。
※警戒・解除操作は車輻から2m以内で操作できます(赤外線式)
- ブザー
操作確認音や通報(通知)音を出力します。
弱衝撃…「ビュー」が鳴ります。
強衝撃…「ビュービュービュー」が2.5秒おきに1分間鳴ります。
ドア開放…「ビュービュービュービュー」が2.5秒おきに2分間鳴ります。
- 内蔵電池
車販のボタン電池で約5ヶ月間使用できます。
※1日8回のセキュリティ操作で1週間に2回の通報(1分間)があった場合CR2032×2使用

- シガープラグ
 - DCプラグ
 - 電源コード(約3m)
 - ヒューズ(内蔵)
 - 先端キャップを外す(反時計方向に回す)とヒューズを交換できます。(1A)
 - マイナス端子
- 注意
 - シガープラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。

サンバイザーに取り付ける

本機は、付属のサンバイザークリップでサンバイザーに取り付けてください。

- 警告
 - 運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
- 注意
 - 取り付けは、確実に行ってください。落ちたりすると、ケガの原因となります。

センサーユニットを充電する

お買い上げ時、センサーユニットの内蔵専用電池は十分に充電されていません。初めてお使いになるときや長期間お車をご使用にならなかった場合は、下記手順で充電を行ってください。
※12V車専用です。DC12V以外では使用できません。

- 1 付属のシガープラグを、DC12Vジャックと車のシガーライターソケットに差し込む
差し込みにくい場合は、シガープラグは、2~3回左右にひねりながら差し込みます。
- 2 車のエンジンをかけて、充電する
本機は、シガーライターソケットに接続しておくことで、車の走行中(エンジンキーがACCまたはON)に充電されます。
*充電時間の目安
…電池の状態に応じて急速充電、またはトリクル充電を行い、1~2時間でフル充電されます。(1時間の充電により約1週間の連続警戒(1分間警報動作×2回を含む)ができます)
…急速充電は充電電流が大きくなり、ケースの一部が多少熱くなりますが故障ではありません。

注意

- シガープラグは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、新しいヒューズ(1A)と交換してください。シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意し、順序を合わせて入れてください。
- 交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグを抜いてお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

- メモ
 - シガープラグの形状が合わない場合や、シガーライターソケットに常時電源が供給される車は「OP-20の使いかた」を参照してください。

OP-20の使いかた (シガーライターを使わず、ヒューズボックスから電源をとれます)

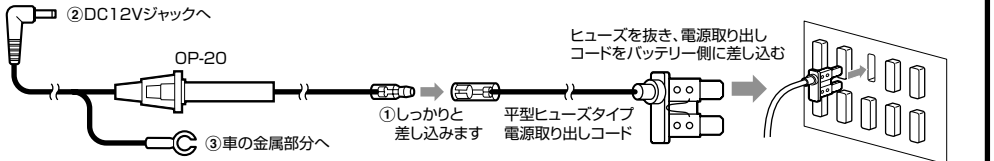
シガーライターソケットに常時電源が供給される車や、シガープラグの形状が合わない場合には、OP-20(別売)と平型ヒューズタイプの電源取り出しコード(市販品)をお買い求めいただき、次のように接続してください。

- 電源用直結コードOP-20(別売)
- 平型ヒューズタイプ電源取り出しコード(市販品)

※平型ヒューズにはノーマルサイズとミニサイズがあります。あらかじめ、ヒューズボックス内のヒューズのサイズと容量をご確認のうえ、お買い求めください。

接続方法

- 作業中のショート事故防止のため、接続前に必ず車のバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
- 平型ヒューズ取り付け時には、付属の取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。



電源をON/OFFする

お買い上げ時、本機の電源はOFFになっています。ご使用前は、電源をONにしてご使用ください。また、ご使用中は電源をONの状態のままで使います。電源を切っていると、警戒や本機操作ができません。
※長期間お車をご使用にならない場合や、点検整備など第三者に預けになる場合は電源をOFFにしてください。

センサーユニットの電源をONにする

1. エンジンキーをACCの位置にする
2. 操作音「ドミソド」が鳴るまでセンサーユニットのMODE(モード)/PWR(パワー)スイッチを押す(約5秒間)
5連スキャンニングLEDが点灯(0.5秒間)して、センサーユニットの電源がONになります。
※エンジンキーは必ずACCの位置で行ってください。

リモコンの電源をONにする

1. 操作音「ドミソド」が鳴るまで操作ボタン押す(約5秒間)
インジケータランプが点灯(0.5秒間)し、リモコンの電源がONになります。

- 電源をOFFにするには
リモコンの電源がONのときに左記手順を行うと、リモコンの電源をOFFにできます。(操作音「ドミソド」)

